

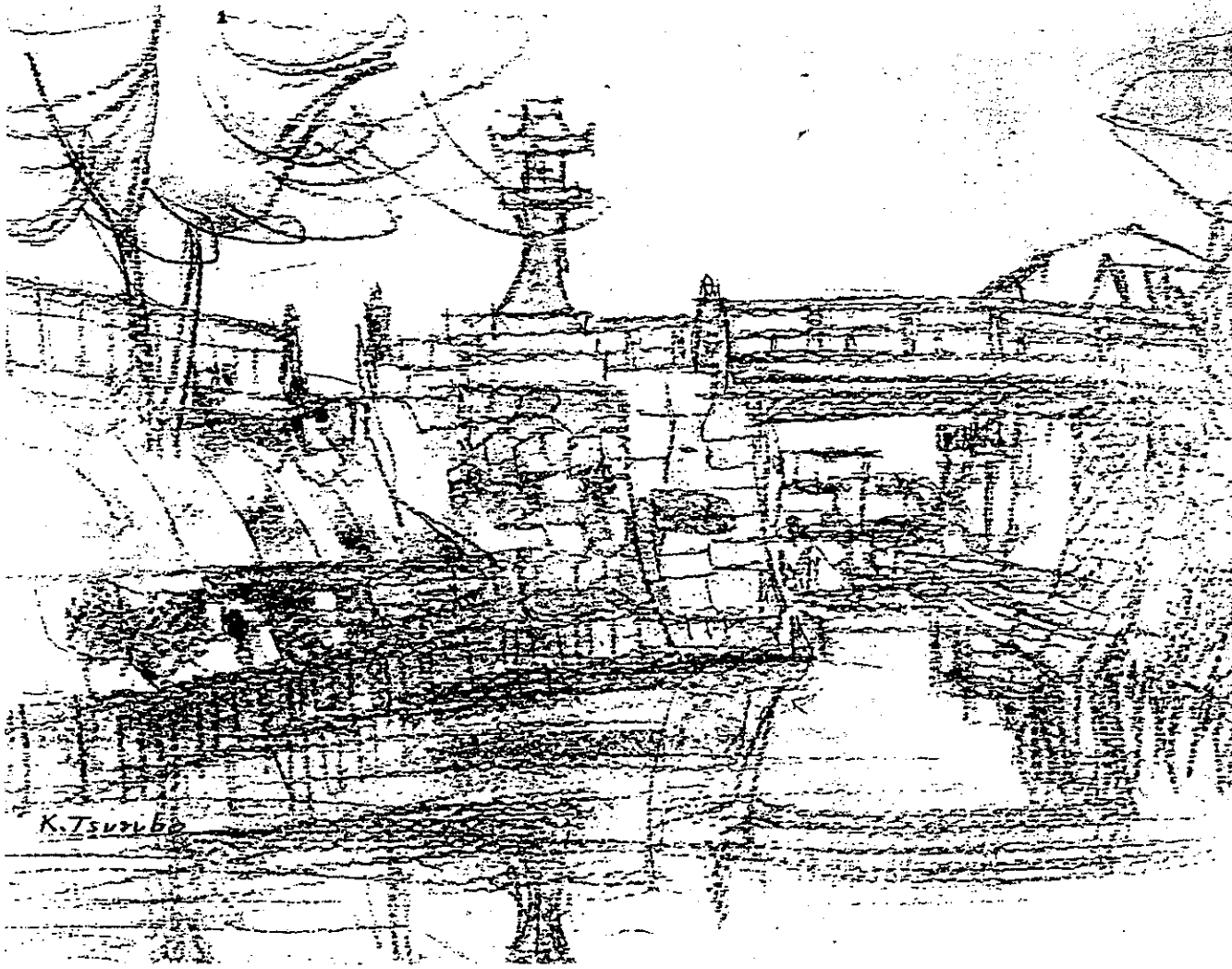
平成6年10月

あすなろ

発行所
近江八幡商工会議所婦人会
住所 近江八幡市桜宮町231-2
TEL 0748-33-4141

創刊号

発行責任者
会長 村井照子
編集責任者
広報委員長 井上和子



「創刊にあたり」

会長 村井照子



設立以来四年自漸く私達の会報「あすなろ」を出すことが出来ました。これも近江八幡商工会議所の大きな庇護のもと、会員皆様のご協力があればこそと心より厚くお礼申し上げます。

明日こそ松になろうと希望を胸に大地にしっかりと根を張り、天に向かつて大きく育つ、翌松の木。わたしはそんなあすなろの木が好きなのです。いつか、テレビドラマの中で、人生のたそがれを夕映えにするのも夕暮れにするのもその人の心掛け次第と云う言葉が私の心に残りました。

遅時き乍ら、私もこれから皆様の暖かい友情に包まれ、徳を磨き、情を育て、一日一日を大切にこの婦人会が地域に根づいた会に育つよう努力していく事が、それが、わたしの夕映えの糧になつてくれることを信じ、精一杯前進を続けて参りたいと思っております。

今後ともよろしく支援・協力賜りますようお願い申し上げます。



「創刊号発刊にあたり」

広報委員会 委員長 井上和子



近江八幡商工会議所婦人会発足五年目を迎え、村井会長の懸念でありました委員会組織が出来ましたことは、会員皆様方のご理解とご協力のおかげと大変嬉しく思います。

過ぎし四年間を思い起こしながら、創刊号発刊の重大さを痛感致しております。

微力な私を委員会はもとより、皆様方にご指導頂きました事、又、各委員長には今後の行事予定、抱負等、お願いしました処、快くお引き受け頂きました。この場をおかりいたしましたしてお礼申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

会報の顔になります表題は村井会長より「あすなろ」と頂きました。翌松「明日にむかって伸びようとする心」を表して、これこそ、村井会長の信念だと信じて居ります。

今後、年一回の会報発刊を目標にして、婦人会の活動がゆるぎないものとなり、益々成長していく事を願い頑張りたく存じます。

それぞれの職業の中での苦しみや喜びをこの会報を通じて分かちあえばと思つて居ります。どしどしと投稿頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、表紙の絵は鶴房健蔵先生にお願い致しましたところ、八幡堀を画いて下さいました。

「地域クリーン運動を終えて」

第二委員会 委員長 小林千鶴子



今夏は気象庁観測史上始まって以来と言われる猛暑で雨も降らずあちこちで水不足の悲哀が聞かれました。幸い水郷近江八幡は近畿の水脈を持っておりますお陰で、どうにかもちこたえている昨今です。

私、この度、第二委員会の委員長をおおせつかり、この大役に自分でも恥を顧みずお引き受けさせていただきました。委員の皆様と共に研修会、奉仕作業の担当をさせて頂きますのでよろしくご協力をお願い致します。

さて、早速、奉仕作業として、八月三日地域クリーン運動として官庁街の清掃を計画いたしました処、猛暑の中、多数の皆様の協力を頂き誠にありがとうございました。

皆様、お体は大丈夫でしたでしょうか？ 研修会と致しまして、十一月二十五日、午前九時三十分より関西電力の多目的ルーム「セレ八幡」に於いて同和学習と料理教室の開催を予定致しております。会員皆様の多数のご参加をお願い致します。

どうかこの一年よろしくご協力下さいますようお願い申し上げます。私のお礼旁々ご挨拶とさせて頂きます。



「チャリティバザーを終えて」

第二委員会 委員長 清水美恵子



この度「あすなろ」発刊について、一言ご挨拶並びに紙面をお借り致しましてお礼申し上げます。当婦人会も年々、諸行事を通じてコミュニティの場として大きな輪を広げ、活発に発展して参りました。

八月に入り、各分野での行事が重なりつつある中で、恒例のバザーも行われました。

猛暑の最中、商工会議所会員の皆様、事務局の方々には大変お忙しい貴重な時間を頂き、ご協力、ご参加下さいまして本当にありがとうございます。又、一部の方には最後までお手伝い頂きまして重ねがさねお礼申し上げます。

お陰様で二〇六、二三八円の収益があり、翌日、近江八幡市へ「環境及び美化に役立てて下さい」と二〇万円を寄付致しました。次回はもう一つコナを設けて皆様に喜んで頂けるような事を.....と考えております。

一年を通して行事が滞りなく終っていく。そして、人と人とのふれあい、なごやかな雰囲気。私は大好きです。これからますます大切に行きたいと思えますと同時に忘れてはならないのは家族の人達、又、周りの方々の暖かい理解があればこそ、協力があればこそ、こうして、皆様と楽しく交わる事が出来るんだと感謝しております。

最後になりましたが、会員皆様方のご健康と「あすなろ」を担当して下さる方々の今後のご活躍を心より期待しております。よろしくご協力申し上げます。

「多忙中にも拘りませず、早速に素晴らしい作品を頂き、心から感謝致しております。」

今後、皆様方からの会報に対する「協力」と「指導」を重ねてお願い申し上げます、発刊の「挨拶」をさせていただきます。



「文化講演会大成功のうちに終えて」

第一委員会 委員長 小林英代

厳しい残暑の中、近江八幡商工会議所婦人会主催の文化講演会が開催されました。

今年、吉本興業の西川ヘレンさんをお招きし、生い立ちから現在に至るまでの様々な体験談を語って頂きました。



当初の予想を上回る大勢のお客様が足を運んで下さり、立ち見の方が出るほどの文化会館始まって以来の大盛況となりました。本講演では、私が司会進行という大役をまかせられ、始めてということもあり、講演日が迫って来るにしたがって、自信をなくしかけていたころ、多くの会員さんより「一〇人集まったよ」「私は三〇人集めたよ」と声をかけて頂いたことが、とてもうれしく、大変勇気づけられました。



ヘレンさんの話の中には、涙を誘う体験や、思わず笑ってしまうエピソードを物まねを折り混ぜながら、当初の予定よりも15分延長して、熱弁を振るって下さった姿には、多くの方々が感銘を受けられたのではないかと思います。

最後に、割れんばかりの大喝采をもって幕を降ろすことが出来ました。このようにして、商工会議所婦人会会員皆様の一入ひとりの大いなるパワーが結集され、そして、事務局の方々のご支援のおかげで、本講演会を大成功に収めることができましたことを、心より感謝しております。

残暑の候、皆様方におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は本市環境行政に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

またこの度は、環境事業のためにと多額の寄付を賜り誠にありがとうございました。御浄財は「寄付頂いた」趣旨を体して、環境事業推進のため有効に使用させて頂く所存でございます。

本市におきましては、「さわやか条例」施行後、市民の環境問題に対する認識が深まり、また、各種団体によるボランティア清掃活動等を実施していただけるようになり、一定の成果を上げていると喜んでいるところでございます。

しかしながら、空き缶等のポイ捨てや散在性のゴミの散乱は依然と後を絶たず、今後一層環境美化に対する啓発、施策等の充実に更なる努力をしたいと存じております。

ここに取り急ぎ、このたびのご厚情に対しまして、書中をもってお礼のご挨拶を申し上げます。敬具

平成六年八月吉日



近江八幡商工会議所婦人会

会長 村井照子 殿

近江八幡市長

玉田盛

「あすなろ」発刊によせて

第四委員会

委員長

随井佳子

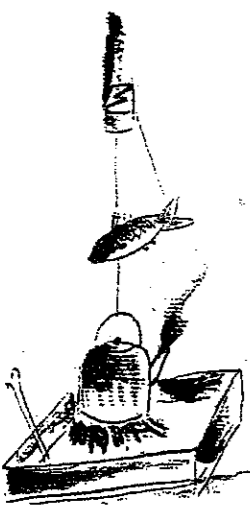


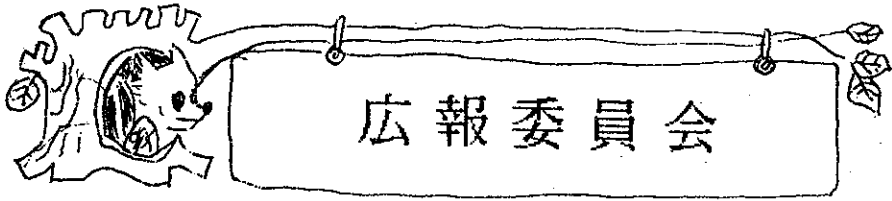
連日の猛暑もようやく峠を越し、野に山に秋の気配を感じる様になって参りました。この時、私達、近江八幡商工会議所婦人会の機関誌「あすなろ」が発刊されることになり、大変嬉しく存じます。

情報化時代の昨今、この機関紙を通じ、私達の身近な情報、又、有益で楽しい情報を交換し合い、それが毎日の仕事や家庭生活に活かされますことを期待しております。

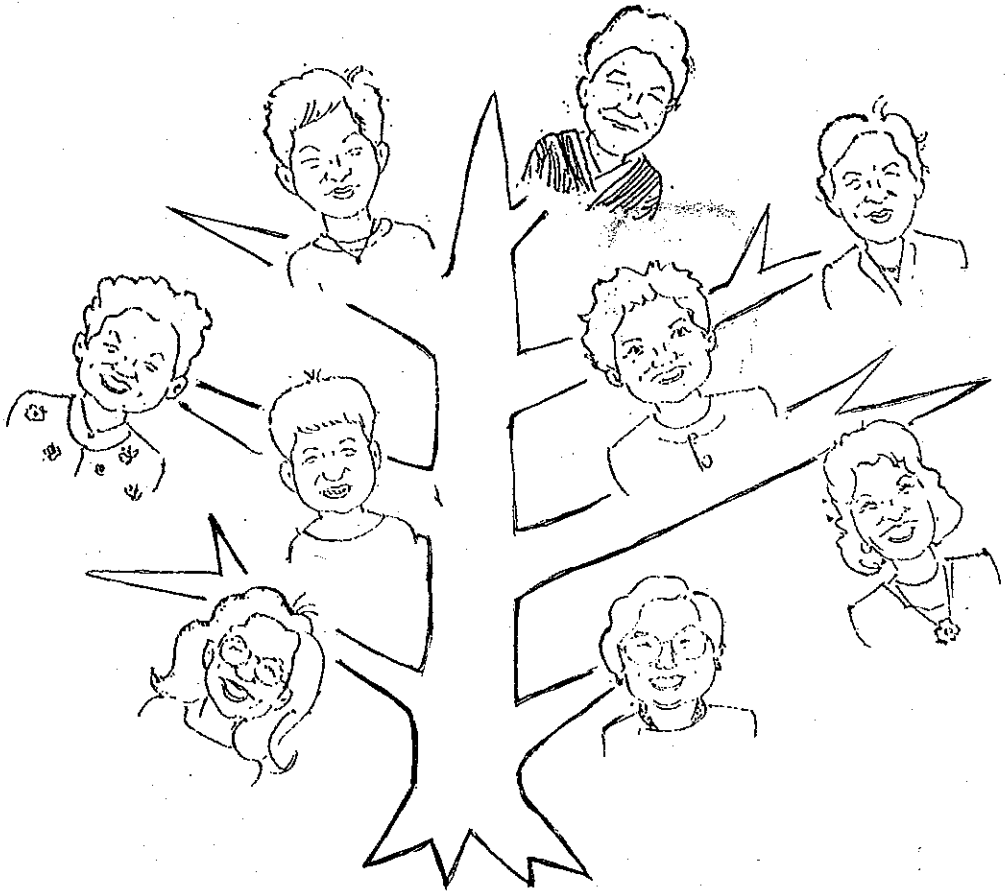
私達、第四委員会は、「新年懇談会」の担当ですが、平成七年は玉田近江八幡市長をお迎えして「新市長と語る会」を第一部とし、第二部では色々と趣向をこらして、楽しい会にして行きたいと計画をしております。

新年懇談会にはお一人でも多くの方々に「出席を頂きたく存じます。皆様方のご協力を賜りながら、一生懸命努力して参りますのでどうぞよろしくお願いを申し上げます。





広報委員会



編集後記

会員皆様の夢と希望をのせて、「あすなろ」創刊号が出来上がりました。あれもこれもと載せたいものがいっぱいですが、今回は、五委員会の委員長様のご挨拶と抱負を語って頂くにとどめました。次号は五周年記念になりますので、ぐっと充実した「あすなろ」をお届けしたいと思っております。郷土の画家、鶴房先生と木川かえる先生に華を添えて頂き、このささやかな手作りの会報が随分、値打ちのあるものになりました。どうもありがとうございます。この愛すべき「あすなろ創刊号」に、先ずは乾杯！

竹山芳子

